



発起人(左から)石井由希子、高橋久美子、前田智子、溝入敬三(他に川崎絵都夫、佐藤容子、マーティン・リーガン)の各氏

作曲家グループ「邦楽2010」発足

邦楽作品、作ります！

邦楽に造詣の深い洋楽系作曲家が集まってグループを結成した。邦楽の演奏者との交流を深めようというものだ。邦楽界に作曲家個人をアピールすると同時に、プロの作曲家グループとして作曲の依頼を受け付ける。9月1日からスタートする。

「邦楽界で作曲もする演奏家は知っているが、邦楽の曲を作る洋楽系の作曲家となると、どこに

指を使って演奏するのもザンバ氏ならではのようだ。
ザンバ氏は箏の美しさに感心していたが、その値段を聞いて目を丸くしていた。ヴァリハは普通5千円前後で買えるようだ。ヴァリハ愛好人口を聞くと1万人くら

いという。プロは10人いない。「私はヴァリハの学校を作ろう」と思っています。今、洋楽器におされていて、若い世代はこの楽器のことを知らない者もいます。国の伝統楽器の代表とされているのに、もっと運動して地位を確立したい」

箏との共演は良い経験になったようで、「楽器同士が会話しているようです。もっと交流を続けければ素晴らしいものが出来るでしょう。これからそういう企画を考えます」と、夢をふくらませた。(た)

んな人がいるのかよく知らない」というのが実状だろう。とくに地方ではその情報は流れにくい。作曲家の名前を知っていても、面識のない作曲家にどうやって依頼してよいのか悩むこともある。「いくらか払えばいいのだろうか？ この金額だと失礼だろうか？……そういった状況で作曲家グループ(邦楽2010)が打開する。

立ち上がったのは、本誌では付録のアレンジスコアでおなじみの高橋久美子、そして石井由希子、川崎絵都夫、佐藤容子、マーティン・リーガン、前田智子、溝入敬三の各氏。この7人が発起人になり、参加作曲家を募っている。8月中旬現在で16人の名前が並んだ(別掲)。

発起人代表の高橋氏は言う。「作曲の依頼はプロ演奏家からであつても、アマチュア個人、合奏団からでも構いません。洋楽を背景としている私達だからこそ、依頼者の要望(編成、レベル等)に応じた作品を生み出し、さらには邦楽・洋楽という枠組みを超えたと

ころで世界に発信することを目指しています。それには、演奏者と作曲家が委嘱作品を通じて意見を交換しあい、良好な関係を保つことが重要です」

事務局を設け、そこで作曲の依頼を受け付ける。中継を置くことで、依頼者も作曲者も要望を言いやすくするというもの。演奏者(団体)から個人の作曲家に依頼する場合、事務局を介して作曲者に要望を伝える。個人指名でない場合、演奏者が望む編成、納期、委嘱料などの情報を参加作曲家全員に配信し、その条件で名乗りを挙げた作曲家(複数)の場合もある。依頼者に伝えるというシステムだ。参加メンバーの写真やプロフィールなどはホームページに掲載している。まずはこれを見て検討してほしいということだ。

グループの活動はこの他、要望があれば、既存の曲の作曲家自身による講習も行う。また、グループによる作品発表会を行う。第1回は発足記念ということで、11月23日に渋谷のライブハウスで行

作曲家グループ「邦楽2010」 The Hōgaku Composers Alliance 2010

【参加作曲家】

◎石井由希子／大塚茜／神坂真理子／◎川崎絵都夫／菅野由弘／眼龍義治／吉川和夫／橋川琢／◎佐藤容子／◎高橋久美子／田中修一／壺井一歩／◎マーティン・リーガン／◎前田智子／松村百合／◎溝入敬三(◎は発起人)

【ホームページ】

<http://music.geocities.jp/hogakucollectors/>

【事務局】邦楽アソシエーション(作曲依頼受付中)

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-9-11-605

電話 03-5338-9530 / ファックス 03-5338-9540

メール info@asoshi.com

※参加作曲家募集中——会員の推薦と発起人の了承が必要

【発足記念コンサート】

11月23日(火・祝)／公園通りクラシックス(渋谷)

◇石井由希子：冬の断章(新作)／坂田誠山(尺八)、五月女雅(箏)、大久保千秋(17絃)

◇川崎絵都夫：双鳴の曲／野澤徹也・浅野藍(三味線二重奏)

◇高橋久美子：タイトル未定～十七絃ソロのための～(新作)／栗林秀明(17絃)

◇前田智子：タイトル未定(新作)／星田一山(尺八)、白土文雄(コントラバス)

◇溝入敬三：箏独奏のための『山椒魚』(台本：井伏鱒二)／梶ヶ野亜生(箏)

うことが決まっている。

尺八は世界に知られる楽器で、尺八のための作品は海外にも多数ある。そういった状況を踏まえ、作曲家グループは国内だけでなく、海外作曲家の参加あるいは海外からの作曲依頼も視野に入れている。洋楽界側からの積極的なアプローチが邦楽界の活性化につながるか、大きな期待がかかる。(た)



リ・オペラ座バスターユにて6月11日～7月15日にかけて、バレエ公演『Kabuyahime(輝夜姫)』が15ステージ行われ、太鼓の「鼓童」と

雅楽の「伶楽舎」が生演奏で参加した。

この作品は84年に作曲家・石井眞木が『竹取物語』を題材に創作したもので、初演時は東洋と西

鼓童と伶楽舎が
バレエ作品でオペラ座へ
『Kabuyahime(輝夜姫)』大成功！